



Sun Java™ System Identity Auditor



法令の遵守 / リスクの統制 / 厳格な監査を
効率的かつ効果的に行うためのIT基盤統制ソリューション



今日の企業は、かつてなかった程の厳格なコンプライアンス要件を満たし、クリティカルなビジネス情報のセキュリティと厳格性を管理することを求められています。この要件に応えるためには、企業はいかなる時でも、どの情報リソースに誰がアクセスしたかの把握 / アクセス・コントロール(統制)による変更内容の監視 / 証拠の保持ができていなければなりません。企業はこれと同時にビジネス・プロセス統制 / IT統制 / 手続ポリシーの逸脱に対する迅速かつ効果的な措置を施し、法令遵守への障害やセキュリティ対策の妨害、そして法的義務の全うを阻害しかねない、あらゆる課題に応えなければなりません。

Highlights

Sun Java™ System Identity Auditorは、企業が法令の遵守やコンプライアンス要件を実現するためのソリューションを提供します。

- 監査ポリシーへの適合性の評価や調査のスケジュール化 / 自動化。監査ポリシーに対する違反があった場合の即時通告
- 内部統制の実現に応える、パッケージ化され、カスタマイズ可能な監査ポリシー
- アクセス権限や監査ポリシー違反の設定を簡素化 / 自動化し、その権限を委譲することも可能
- リスク・アセスメントを自動化し、セキュリティ統制の徹底と維持を実現
- 企業のセキュリティ・イベント管理アプリケーションに対する、アイデンティティ・サービスの提供
- SOX法(米企業改革法)やHIPAA法(医療保険の携行と責任に関する法律)を含む、法令の要件を満たすために必要なレポート作成機能
- 内部統制の運用性 / 効率性を視覚化して把握可能

米国だけを見ても、SOX法(Sarbanes-Oxley Act: 米国企業改革法)やHIPAA法(Health Insurance Portability and Accountability Act: 医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律)、そしてGLB法(Gramm-Leach-Bliley Act: 米国金融制度改革法)など制定法が求める遵守要件は、企業にとっての大きな負担となりつつあります。それだけでなく、企業はEU IAS(European Union International Accounting Standards: 欧州連合国会計基準の国際会計基準)やBasel II(新BIS規制)、そしてEuropean Data Protection Act(欧州データ保護に関する法律)などの国際的な基準 / 規制の要件も満たしていく必要に迫られているのです。監査のために必要となる書式統制 / 監視プロセスの実施 / データの集約 / レポートの作成、そして監査の準備がいかに経費を必要としているか、実行がどれほど難しいものであるかが、世界中で日々認識されているのです。

企業がこれらの法令や国際的な基準を適切に遵守するためには、スタッフの増員やコンサルタントへの要請を行い、さらに実際のプロセスでは複雑な人的作業に依存しなければならないことも少なくありません。必要なのは、長期に渡ってセキュリティと法令遵守の目標に応えていくことができ、容易な管理性 / 繰り返し利用できる反復性 / 継続性を備え、そして費用対効果に優れた方法を見つけ出すことなのです。

Sun Java™ System Identity Auditor

Sun Java System Identity Auditorは、法令遵守に関連した様々な活動を、企業の日々のビジネスの一部としてシームレスに融合する業界初のソリューションです。人的な作業に依存し分断されがちなプロセスを簡素化 / 自動化することで、これが可能になるのです。

Sun Java System Identity Auditorは、主要なアイデンティティ統制の対象であるアクセス権限の包括的な視覚化を可能にします。管理者は誰がどの情報に対してアクセス可能かをいつでも視認でき、ポリシー違反があった場合の即時警告や自動的に対応策の提供を受けることが可能です。Sun Java System Identity Auditorは査察のためのレポート作成や監査証拠を確立し、監査の際に証拠となりうるアクセスの実態や権限の詳細情報を提供します。

Sun Java System Identity Auditorは、Sun Java System Identity Manager / Sun Java System Access Manager / Sun Java System Directory Serverと共にSunのアイデンティティ管理ソリューション・スイートの一部として機能し、セキュリティの確立と法令遵守の実現のための包括的なアプローチを提供します。異機種が混在したIT環境やサードパーティ製プラットフォームをサポートできるよう開発されたSun Java System Identity Auditorは、容易に既存の企業アプリケーションやアイデンティティ管理基盤と統合することが可能です。Sun Java System Identity Auditorは、アイデンティティ管理とセキュリティ・イベント管理(SEM)を企業のセキュリティ・ポリシーに関連付ける新しいソリューションです。

Sun Java System Identity Auditorは、積極的かつ自動的で、視認性にも優れたアイデンティティ統制を実現し、法令遵守の徹底や効率的な監査体制の確立を支援します。
これにより、費用対効果に優れた方法で、ビジネスの保護と法的責任の負担を軽減することが可能になります。

ポリシー違反を自動的に察知 / 警告 / 修正

早期に察知し適切な警告を行うことで、主要なアイデンティティ統制に対する違反を削減することが可能になります。Sun Java System Identity Auditorは、違反行為の基準を定義し、職務分離規程の違反や不正なアクセス権の変更などの検出を行うために、クリティカルなアプリケーションのスキミングを実施する監査ポリシー・エンジンを提供します。

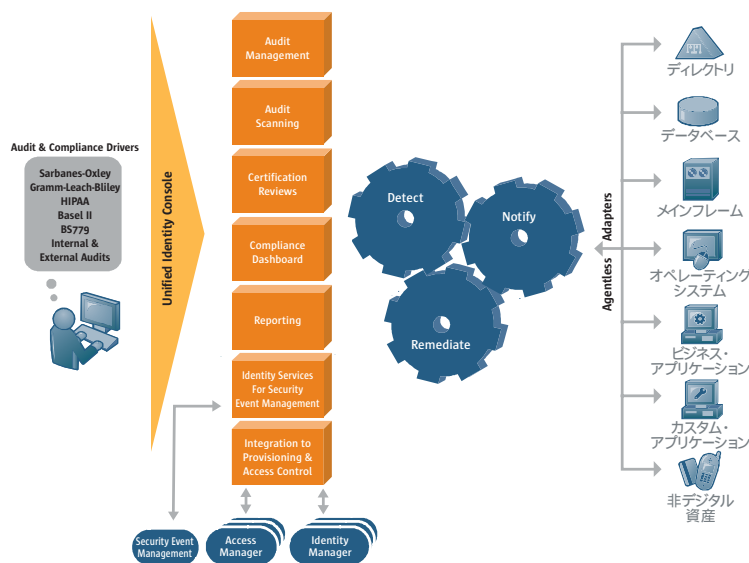
警告は適切なスタッフとアプリケーションに送信されます。修復のためのタスクをユーザが自動的に呼び出すことや、もしくは、ポリシー違反の際に修復するためのワークフローを自動的に実行させることが可能です。例えばSun Java System Identity Managerとの統合により、Sun Java System Identity Auditorが自動検診の際に違反行為を発見した場合、そのアカウントを即時停止するなど、他の機能を統合することで上述のような対応策が可能になります。

主要なアイデンティティ統制事項に対する自動的な認証確認

Sun Java System Identity Auditorは、アイデンティティ統制に則った継続的な検証や運用リスクの最小化を実現するために、アクセスや不正行為に関する査察権限の委譲や査察の強制実行を行います。これはワークフロー機能を利用し、管理者やビジネス・プロセスのオーナーなど、特定の査察選任者に警告やレポートを送信します。この機能を使えば、スケジュール化された定期的なアクセス・レポートや不正行為のレポートの生成も可能です。これによりあらゆる例外事項や緩和事項が記録されるだけでなく、査察選任者が必ずレポートの内容を確認して承認を下すこと義務付けることができます。

企業のセキュリティ・イベント管理(SEM)のためのアイデンティティ管理

Sun Java System Identity Auditorは、セキュリティ・イベント管理(SEM)アプリケーションとの密な統合により、企業のセキュリティ・ポリシーに適合するために必要なアイデンティティ・コンテキスト情報を提供します。Sun Java System Identity Auditorは、企業内におけるリアルタイム監視や、企業のセキュリティ・ポリシー決定に沿ったイベントへの関連付けを行うために、アイデンティティ・ログ(Sun Java System Access Manager / Sun Java System Identity Manager / Sun Java System Directory Server Enterprise Editionのデータと合わせて)を提供します。この情報を受け取ることで、セキュリティ・イベント管理(SEM)アプリケーションはSun Java System Identity Auditorに対して、警告の送信、アカウントの停止やセッションの破棄などの自動的な対応措置などポリシーに沿った決定内容を指示します。



機能の概要

Sun Java System Identity Auditorは、容易かつ効果的に、そして費用対効果に優れた方法で法令遵守の徹底化 / セキュリティの向上 / 効果的な監査の実現するために、企業が必要としているあらゆる機能を提供します。

特長	機能	利点
コンプライアンス・ダッシュボード	<ul style="list-style-type: none"> クリティカルなセキュリティ指標の要約を表示 違反行為 / 例外行為 / 変則行為を表示 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティとコンプライアンスに関する実態 / 実情に関する情報を、包括的にリアルタイムで視覚化して提供
パッケージ化された監査ポリシー(SOX、HIPAA)	<ul style="list-style-type: none"> 職務分離規程違反やアクセス権限の不正な変更など、法令遵守のために必要な一般的評価基準を確立 	<ul style="list-style-type: none"> 法令遵守を促進するためのプロセスを速やかに実現可能
監査スキャン	<ul style="list-style-type: none"> 対象システム内のアイデンティティ・データを監査ポリシー基準に照らし合わせて評価 定期的または適時に、自動的に違反を察知し適切な担当者へ警告 	<ul style="list-style-type: none"> 潜在リスクを早期に警告可能
自動的な認証レビュー	<ul style="list-style-type: none"> アクセス権限とポリシー違反に関する査察権限の委譲 対応策の自動的な適用や、例外行為の自動的な確認 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス権限やイベントの検証作業を簡素化し、継続的な法令遵守の実現を支援
セキュリティ・イベント管理(SEM)アプリケーションに対するアイデンティティ・サービス	<ul style="list-style-type: none"> SEMアプリケーションと相関性のあるアイデンティティ・ログを提供 SEMアプリケーションによって定義付けられている企業セキュリティ・ポリシーと一貫性を保ちつつ、自動的に警告発信や対応策を実行 	<ul style="list-style-type: none"> SEMアプリケーションにアイデンティティ・コンテキストを提供 セキュリティ・インシデント発生の際には、適時に適切な対応策を実行可能
レポート機能	<ul style="list-style-type: none"> SOX / HIPAA / GLBなど法令遵守の監査に必要な、整形済みのアイデンティティ情報レポートを発行 ポリシー違反 / 対応策 / 例外事項の概要を記載したレポートを提供 アイデンティティや監査情報に応じ、カスタマイズされたレポートを作成可能 	<ul style="list-style-type: none"> 人的作業による情報収集 / 集約を削減 法令遵守の監査プロセスを効率化

Sun Java™ System Identity Auditor

レポートの作成

どのような監査においても、提出物の鍵となるレポートは、実際にどのように統制が適用されているかの情報だけでなく、ユーザの行動に関する詳細な情報も提供します。Sun Java System Identity Auditorは、SOX / HIPAA / GLBや様々な法令に対応可能な監査レポートを生成し、いつ誰がどのような情報にアクセスしたのか / ユーザのアクセス権限の変遷履歴 / ポリシー違反など含むユーザ情報を提供します。

また、Sun Java System Identity Auditorは、カスタマイズされたレポート生成を支援するレポート・ウィザードによって、特別なレポート要件にも対応します。さらに、Sun Java System Identity Auditorは、ユーザのアクセス権限 / アクセス履歴 / ユーザ・プロフィールの更新などに関するセキュアかつ包括的な監査証跡を生成し、アイデンティティ情報に応じたユーザの様々な行動を俯瞰できる統合的な情報も提供します。

Sunが提供する包括的なアイデンティティ管理

今日、アイデンティティ管理は有効なIT基盤を実現するための中心課題となっています。このアイデンティティ管理の課題や要件に対し、Sun独自の方法でソリューションを提供しているのがSun Java System Identity Auditorです。Sunは、変化していく企業やサービス・プロバイダーの要件に適切に対応しつつ、コストと複雑性の削減が可能な包括的なアイデンティティ管理製品群を提供しています。プロアクティブなリスク管理を実現する様々な機能を組み合わせて提供することにより、企業の法令遵守やセキュリティ要件への対応を実現しつつ、ビジネスのセキュリティ環境の包括的な向上を支援するのがSun Java System Identity Auditorです。

サポートするデータ・リソース

ディレクトリ・サーバ

- Microsoft Active Directory
- Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) v3
- Novell eDirectory

データベース・サーバ

- Oracle® 8iおよびOracle 9i

アプリケーション

- Oracle E-Business Suite
- SAP R/3
- Siebel CRM
- PeopleSoft

メッセージ・プラットフォーム

- Lotus Notes

OS

- HP OpenVMS
- HP-UX
- IBM AIX
- IBM OS/400
- Red Hat Enterprise Linux
- Red Hat Enterprise Linux AS
- Solaris™ OS

Webアクセス制御製品

- Tivoli Access Manager
- Netegrity SiteMinder
- Sun Java System Access Manager

セキュリティ・マネージャ

- IBM RACF

今、すべてをシンプルに変える

Sunは、オープンで互換性のあるお求めやすいソフトウェア・システムを各種取り揃え、IT基盤の効率的な稼働を支援しています。各ソフトウェア製品はUNIX®とJavaテクノロジーをベースにシステムとして統合され、高いセキュリティと可用性、下位互換性を備えています。

Sunのソフトウェア・ポートフォリオには、Solaris OSとLinux、ダイナミックなユーティリティ・コンピューティングに最適なN1™プラットフォーム、そしてデータセンター / デスクトップ / 開発 / モバイル・デバイス / アイデンティティ管理の5つのソフトウェアが統合されたSun Java Systemが用意されています。Sun Java Systemは、企業が必要とするソフトウェアの購入 / 開発 / 管理をこれまでになくシンプルにする画期的なアプローチで、豊富な実績と広範なソフトウェア・ポートフォリオを持つユニークな製品戦略です。

Sun Microsystems, Inc.について

1982年の創業以来、Sunはお客様の声にお応えし、お客様のビジネスの成長支援、コスト削減への貢献、企業競争力の増進に努めてまいりました。Sunは業界でもっとも堅牢なハードウェア / ソフトウェア / サービス、そしてコンピュータ・ネットワークの源流となるテクノロジーを提供しています。

詳細

Sun Java System Identity Auditorの詳細については、jp.sun.com/software/ をご覧ください。

システム要件など、最新の詳細情報は、リリースノート docs.sun.com/ をご覧ください。

サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1
中部支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-4
大阪支社	〒541-0052 大阪府中央区安土町1-8-15
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1
ホームページ	http://jp.sun.com/

SBSタワー	電話(03)5717 5000(代)
山王パークタワー12F	電話(03)4232 2400(代)
エグゼルの内507	電話(052)203 1233(代)
野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265 5700(代)
福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834 0100(代)
つくば三井ビルディング11F	電話(0298)61 2210(代)
山之手ビル7F	電話(0565)25 5700(代)



Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク、Java, Java Coffee Cupのロゴマーク、Solaris, N1は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。UNIXは、X/Open Company Ltd.が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。ORACLEは米国Oracle Corporationの登録商標です。本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。